

開会・あいさつ

全国環境保全型農業推進会議 松本 聡 会長

平成 11 年に制定した「持続農業法」により、環境保全型農業を先進的・積極的に取り組む農業者である「エコファーマー」が誕生しました。「エコファーマー」の認定件数は増加を続け、平成 21 年 3 月には 18 万 6000 件に達しました。順調に伸展しているようですが、課題も生じています。

ひとつは全国的に組織するネットワークづくりです。全国交流会や地方ごとのブロック研究会が開催され、「エコファーマー」をはじめとした農業者に参加を呼びかけているところであり、一層取組が進んでいくところです。

もうひとつは「エコファーマー」の生産物のコストに見合った価格での取引です。消費者の大多数は 1 円でも安いほうに流れます。環境保全型農業の在り方をもっと大々的に宣伝し、消費者の方に御理解をいただきたいと思います。

そうした背景も踏まえ、平成 20 年度のコンクールで農林大臣賞を受賞された 2 件の優良事例発表とお二人の方から基調講演をしていただきます。消費者と農業者との間に、強いつながりが、非常に今、強く求められています。国民の重要な食料を担う農業にあって、環境保全型農業に取り組む農業者がいかに重要な作業を毎日苦勞しながら行われているか、そういうことを今、理解していただきたいと思います。

それらの観点を中心に講演をお聞きいただければと思います。